

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月29日

上場会社名 マナック株式会社
 コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉之原 祥二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 岡本 道俊
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

上場取引所 東

TEL 084-954-3330

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	3,756	—	49	—	109	—	61	—
20年3月期第2四半期	3,984	6.0	207	△20.9	265	△7.3	181	△21.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	7.40	—
20年3月期第2四半期	21.61	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	11,252	8,513	8,513	75.7	1,058.77			
20年3月期	11,326	8,713	8,713	76.9	1,038.56			

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 8,437百万円 20年3月期 8,596百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	3.6	110	△61.5	240	△37.3	140	△37.2	16.69

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 8,625,000株 20年3月期 8,625,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 584,153株 20年3月期 235,253株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 8,273,386株 20年3月期第2四半期 8,394,782株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を主因に、欧米や新興国経済の急激な減速に伴い、株式・為替市場は混迷し、あわせて原油や原材料が急騰したことから企業収益は悪化し、更に物価の上昇により個人消費が冷え込み、景気の後退懸念が鮮明となりました。

化学業界におきましても、特に原・燃料の高騰に伴う影響や在庫調整とみられる需要減退により、ファインケミカル分野は大幅に収益が悪化傾向にあります。一方、電子材料は先端分野を中心に相対的に堅調であったものの、先行きの需要動向には不透明感が強く感じられるようになっております。また、世界的な景気減速の影響を受け高機能樹脂をはじめとした高付加価値製品の需要も減少傾向が伺え、収益面では採算状況が極めて厳しくなっております。

このような環境のもと、当社は、高騰する原・燃料価格を製品売価への転嫁を進め、生産面においては、徹底した生産効率を追求し、原・燃料のコスト上昇分の吸収に努めております。一方、開発面においては、ユーザーからの要求に対し、スピード感をもった対応に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,756百万円、営業利益は49百万円、経常利益は109百万円、第2四半期純利益は61百万円となり、第1四半期に吸収し切れなかった原材料の値上げ分は、第2四半期において製品転嫁が一部進み、利益面では、年初計画を維持することができました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は11,252百万円となり、前会計年度末に比べ73百万円減少いたしました。

流動資産は7,217百万円となり、135百万円増加いたしました。固定資産は4,035百万円となり、209百万円減少いたしました。

有形固定資産は2,920百万円となり、168百万円減少いたしました。投資その他の資産は1,107百万円となり、38百万円減少しております。

当第2四半期会計期間末の負債合計は2,738百万円となり、前会計年度末に比べ126百万円増加いたしました。

流動負債は2,187百万円となり、50百万円増加いたしました。

当第2四半期会計期間末の純資産は、8,513百万円となり、前会計年度末に比べ199百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の76.9%から75.7%となり、1.2%減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは197百万円の収入となりました。これは、主に減価償却費、仕入債務の増加によるものであります。投資活動に使用された支出は129百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の返済、自己株式の取得及び配当金の支払等により、274百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、サブプライム問題を契機とした欧米経済の減速に伴い新興国の景気後退、慢性的な原材料の高値推移から、企業収益は圧迫され、製品の値上げ基調が続く結果的に消費者の購買力を弱め、今後も一層厳しい状況が続くものと思われまます。

化学業界におきましては、原油やナフサ価格は一時の高騰いっぺんとうから若干下落傾向になりつつありますが、引き続き厳しい経営環境は続くものと考えられます。

当社におきましては、更なる経営の効率化・合理化に努め、利益重視の経営に全力に取り組んでまいります。

当社の業績予想につきましては、平成20年7月31日に公表いたしました、平成21年3月期の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・四半期財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用しております。製品及び商品の評価基準については、低価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法に変更しております。)、その他の棚卸資産の評価基準については、原価から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	294,178	660,967
受取手形及び売掛金	3,089,856	3,020,085
有価証券	1,421,942	1,061,564
商品	15,455	13,694
製品	969,378	799,449
原材料	637,895	557,595
仕掛品	337,656	349,312
その他	453,688	622,052
貸倒引当金	△2,913	△2,864
流動資産合計	7,217,137	7,081,858
固定資産		
有形固定資産	2,920,955	3,089,812
無形固定資産	6,935	8,329
投資その他の資産	1,107,304	1,146,145
固定資産合計	4,035,195	4,244,286
資産合計	11,252,332	11,326,145

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,351,021	1,161,600
短期借入金	136,800	270,000
未払法人税等	49,475	47,851
賞与引当金	132,950	132,950
その他	517,270	524,868
流動負債合計	2,187,517	2,137,270
固定負債		
長期借入金	211,500	130,000
退職給付引当金	213,073	200,223
役員退職慰労金引当金	64,429	64,429
その他	62,380	80,952
固定負債合計	551,382	475,604
負債合計	2,738,900	2,612,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	4,972,851	4,978,709
自己株式	△240,910	△87,379
株主資本合計	8,437,290	8,596,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	76,141	116,586
評価・換算差額等合計	76,141	116,586
純資産合計	8,513,432	8,713,269
負債純資産合計	11,252,332	11,326,145

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	3,756,215
売上原価	3,010,684
売上総利益	745,530
販売費及び一般管理費	695,555
営業利益	49,975
営業外収益	
受取利息・受取配当金	17,536
その他	47,689
営業外収益合計	65,226
営業外費用	
支払利息	2,242
その他	3,778
営業外費用計	6,020
経常利益	109,180
特別利益	10,058
特別損失	19,304
税引前四半期純利益	99,933
法人税、住民税及び事業税	45,062
法人税等調整額	6,388
四半期純利益	61,259

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	99,933
減価償却費	280,672
受取利息及び受取配当金	△17,536
支払利息	2,242
棚卸資産の増加額	△238,527
仕入債務の増加額	189,421
その他	△104,274
小計	211,932
利息及び配当金の受取額	17,537
利息の支払額	△2,635
損害賠償金支払額	△5,299
法人税等の支払額	△23,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△124,274
その他	△5,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の借入による収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△51,700
短期借入金の返済による支出	△200,000
自己株式の取得による支出	△153,534
配当金の支払額	△69,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,410
現金及び現金同等物の係る換算差額	7
現金及び現金同等物の増減額	△206,280
現金及び現金同等物の期首残高	2,222,532
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,016,251

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
売上高	3,984,558
売上原価	3,114,493
売上総利益	870,064
販売費及び一般管理費	662,224
営業利益	207,839
営業外収益	60,090
営業外費用	2,460
経常利益	265,469
特別利益	28,369
特別損失	3,716
税引前四半期純利益	290,121
税金費用	108,720
四半期純利益	181,401

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	290,121
減価償却費	259,588
受取利息及び受取配当金	△15,388
支払利息	1,489
棚卸資産の増加額	△219,607
未払金の減少額	△101,003
その他	167,685
小計	382,885
利息及び配当金の受取額	14,943
利息の支払額	△1,445
法人税等の支払額	△236,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△342,999
その他	△96,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△50,000
自己株式の取得による支出	△2,420
配当金の支払額	△41,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135
現金及び現金同等物の増減額	△373,419
現金及び現金同等物の期首残高	2,416,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,042,986